

枚方市議会議員

岩本ゆうすけ 議員報告

編集/発行: 岩本優祐

枚方市東牧野町 24-29

TEL: 072-851-1428 発行: 平成 23 年 10 月

PRESS
YUSUKE
IWAMOTO

Vol. 7

市議会議員選挙の報告・市政にかける思い

平成 23 年 4 月の枚方市議会議員選挙にて初当選させて頂きました、岩本ゆうすけです。
34 人枠に 46 人が立候補する激戦、2,859 票を頂戴し 31 番目で当選させていただきました。
さて私は、『次世代にツケを残すな』をフレーズに、活動してきました。
先輩諸氏への感謝と未来への責任を持ち、先人と子孫のバトンを受け継ぐこと、それは私たちに課せられた使命です。次世代にツケを残さず、しっかりとバトンを渡せるような枚方市づくりを行う必要があります。
そこで取り組むべきは、一つは行財政改革を中心とする都市経営の安定化、また教育改革・子育て支援による次の世代の担い手の育成、そして介護予防・健康づくりを基本とする高齢者世代の生活の質の向上です。
厳しい財政状況にあって、行政の事業においては「あれも、これも」ではなく、「あれか、これか」予算をなるべくかけず、最大限の効果を産み出す施策が求められると考えます。
いわば、スクラップ AND ビルドです。
思いを胸に、これから 4 年間しっかりと頑張ります。



会派の結成！～未来に責任・みんなの会～

枚方市議会では、3 人以上の議員で構成する「会派」を単位として議会の運営が行われており、会派の結成を行いました。私は、みんなの党から推薦を受けたこともあり、「未来に責任を持った政治」「しがらみのない政治」の実現に向け、方向性を同じくする議員 4 名（無所属・改革系）で『未来に責任・みんなの会』という会派を結成しました。
会派名は、未来に責任を持つ政治を行う決意の現れであります。

「みんなの党」の議員を中心に構成する『みんなの党市民会議』（3 名）とも連携を強めながら、改革の動きを進めていきます。

会派名	人数
自由民主党議員団	3 名
日本共産党議員団	3 名
みんなの党市民会議	3 名
公明党議員団	8 名
民主クラブ	8 名
民主市民議員団	3 名
無会派 ※会派に属さない	2 名
未来に責任・みんなの会	4 名

6月議会 文教常任委員会での議論

～効率的・効果的で、中身の伴った中学校給食の実施を要望～

6月の議会で中学校給食の早期実現を求める請願がなされ、文教常任委員会内で発言をしました。

(今年度、岩本は教育委員会関係の事務を担当する文教常任委員会に属しています。)

【岩本優祐の考えについて】

中学校給食は法律上、実施が義務付けられており、食育の観点からも実施すべきものである。問題はその目的に沿った実施方法や、必要経費に対する財源をどう捻出するかという点である。本年6月、大阪府より中学校給食促進について補助制度案が発表され、府内各市で検討が進む中、枚方市も補助金活用により推進すべきである。

【委員会発言 要旨抜粋 平成23年6月20日】

岩本：実施方法が選択制というのは、他の自治体では浸透しなかったと聞いており、全員の喫食が望ましい。

実施形態について、単独調理場の場合、19の中学校全部に調理場を整えると、食材の納入トラック等が校内を走り回ることになり、安全面からも例えば樟葉の地区には1個とか、調理場を集約したほうがコストは抑えられ、効率的になると考えている。運営形態については、直営はどうしてもコスト面で高くつく部分があり委託方式がよいと考えるが、どう考えているか。

答弁：中学校給食の導入には、様々な手法が想定される。それぞれの課題点の整理に努め、効率的で効果的な導入を図るという観点から、今後、検討を進めていく。

岩本：地産地消の取り組みについて、現状をお教えいただきたい。

答弁：枚方市で生産される安全で新鮮な野菜やコメに加え、大阪府内産の農産物を給食用食材として使用した。平成22年度では給食用食材に使用した野菜が58品目中、15品目(右記参照、うち14品目は農薬・化学肥料の使用量が半分以上の大阪エコ農産物認証野菜を使用)。

また、米飯給食用のコメは、12月～翌3月までの4か月分を枚方

産くらわんか米を使用した。学校給食で使用された米および野菜類全体の購入量643tのうち、枚方産のコメ及び大阪府内産を含めた地元農産物の使用量合計が112tとなり、全体の17.4%である。

なお、大阪府の使用率平均は平成19年度で7.4%であった。

岩本：食育に関し、学校教育での取り組みはどうか。

答弁：小学校3・4学年で『わたしたちのまち枚方』の冊子を用い、学習している。

岩本：中学校では更に、深化させたような内容で食育・地産地消の教育を要望する。

小学校での残菜・廃棄率をお聞かせいただきたい。

答弁：22年度の残菜率(副食・おかず)は、4.2%。21年度は4.4%、20年度が5.1%であった。

岩本：制度を整えたとしても魂が入っていないといけない。中学生が給食を食べられないと食べ残しをして、帰りに買い食いをしていたら、制度は整ったけれど中身が全く整っていないということになるので、ただ中学校給食をやるだけでなく、教育の部分でもしっかりとやっていただくように要望する。

タマネギ	白菜
大根	キャベツ
ジャガイモ	サツマイモ
レンコン	えんどう豆
九条ネギ	ホウレンソウ
トウガン	チンゲンサイ
ナス	コマツナ
黒米	米(米飯)

6月議会 岩本ゆうすけの一般質問～要旨～

●図書館運営のありかた～自動車文庫事業の見直しについて～

【岩本優祐の考え】

今後の図書館運営については費用対効果を重視すべきと考える。自動車文庫事業は昭和48年、図書館サービスの公平性確保からスタートした。最盛期に56ものステーションがあったが、空白地域の解消に伴い漸減、現在26か所である。公道での安全面や割高な貸出しコストなど問題があると感じ、質問を行った。

岩本：中央図書館・分館・分室・自動車文庫の1冊あたり貸出コストを比較すると自動車文庫は1冊あたりコストが2倍以上である。

自動車文庫運営について、公道開設の安全面や利用者数等から、ステーション拠点の集約や、運行間隔を3～4週間に1回にするなど、経費縮減を検討すべきではないか。

その効果額を図書館の開館時間延長等に充ててはどうか。

また、指定管理者制度の導入も視野に、市民が利用しやすい図書館となるよう要望する。

答弁：自動車文庫は、運行サイクル等の見直しを検討するが、実施の際には、利用者等に十分説明する。

さらに、市立図書館の効率的効果的な運営を進めることによって経費の縮減を図り、中央図書館2階子どものフロアの平日夜間開館を始めとする、サービス向上を行っていく。

種別	1冊のコスト	貸出冊数
中央図書館	226.8円	1,276,649冊
分館	207.0円	2,336,835冊
分室	245.6円	619,689冊
自動車文庫	528.4円	51,495冊

※平成22年度決算見込み

●財政の健全化について～市債発行の抑制と臨時財政対策債について～

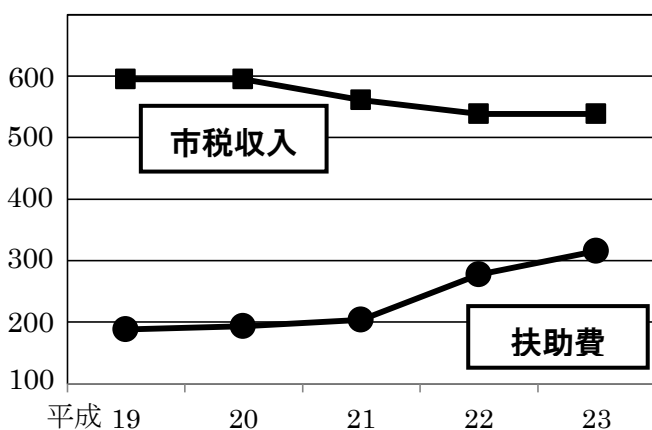
【岩本優祐の考え】

本市の市債残高は減少傾向になく、市債発行は将来負担増加にもつながると考えられる。そこで、行財政改革によって生み出された財源で市債の発行を減らし、柔軟な財政構造を目指すために市債残高を抑制していくべきである。また、自分たちの財源で財政運営のできる体制づくりを行うべきと考え、質問を行った。

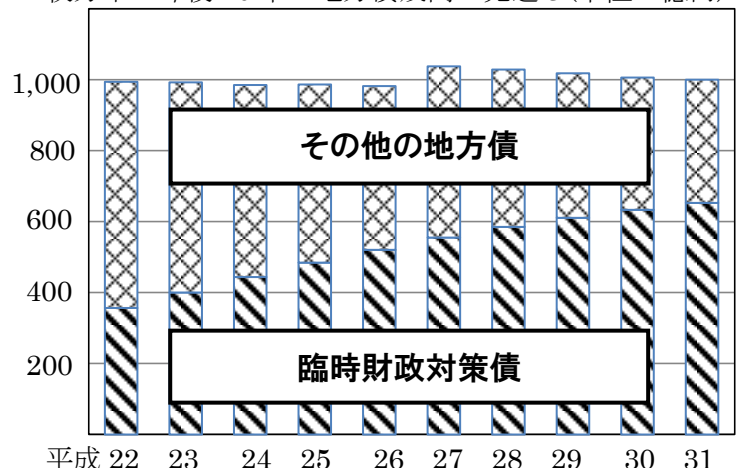
岩本：平成21年度の普通会計決算で、市債残高、また地方交付税の補てん措置としての臨時財政対策債の残高はどうなっているか。また、今後、市債残高はどのように推移する見込みなのか。

答弁：平成21年度普通会計決算における市債残高は990億円、そのうち臨時財政対策債の残高は296億円である。また、今後の市債残高の見込みとして平成31年度までの間、期間を通じ1,000億円前後で推移する。(次ページへ)

過去5年間の市税収入・扶助費の推移(単位：億円)



枚方市の今後10年の地方債残高の見通し(単位：億円)



⇒市税収入が落ち込み扶助費が増大傾向にある中、今後も地方債残高は変わらないまま、推移する

●財政の健全化について～市債発行の抑制と臨時財政対策債について～

(前ページより続く)

岩本：市債残高は、減少傾向ではない。また臨時財政対策債は、資産を形成するような市債ではない。

一方で、ここ数年をみても、今後の経済情勢は、厳しい状況が続くと予想される。3月には東日本大震災が発生、想定を超える事象が起きている中、不測の事態にも対応できるような柔軟な財政構造を目指す必要がある。可能な限り市債は抑制すべきであるが、どう考えるか。

答弁：多額の経費が必要な事業に市債借入を行わず、すべて税負担により賄うと、他の必要な継続的な市民サービスの提供に支障をきたす。市債は、計画的に財政運営を行うための機能をもち、また市債の返済を長期に行うことで、将来その施設を利用する納税者との税負担の公平性を図る機能もある。したがって、現在の地方財政制度では、市債の活用は一定必要と考える。

岩本：仮に新しく何かを建設すれば、いずれ老朽化が進み、維持補修費が必要となる。その際、その時点の納税者がその経費を負担することとなる。今後、少子高齢化の進展や人口の減少等により、市税収入は、ますます減少すると想定される。このような状況で、市債発行は将来負担がますます増加することにつながると考えるが、どうか。

答弁：市債の過度な発行は、将来の公債費増大につながり、財政の硬直化を招くこととなる。市債発行については、将来負担を見通しながら、慎重に行っていく。また、臨時財政対策債に係る公債費については、地方交付税に算入されるものであり、基礎的な行政サービスを提供していく費用は、地方交付税で措置されるべきであるから、国に対して強く要望していきたい。

岩本：政府がいつまでも自治体の面倒を見てくれる保障はない。可能な限り、自分たちの財源でやっていく財政運営ができる体制を整えていただくよう要望する。

以上

発行者紹介

- S55年3月5日、大手前病院に生誕
- 甲斐田新町出身、東牧野町在住
- きよし幼稚園、山田東小、山田中を経て近大附属高校卒。ユングバウムに学ぶ立命館大学法学部卒業、

- 尊敬する人：両親
- 座右の銘：修身 齐家 治国 平天下
- 好きな食物：カレーライス
- 家族構成：妻、娘（3才）

- (株)パソナ ●大阪ガスセキュリティサービス(株)
- 平成23年5月より現職

現在、NPO支援（青少年育成・食育）、枚方JC、地域奉仕活動と充実した日々を過ごしております。

救命講習を受けました！皆さんも消防署で受講しましょう！



WEB・ブログにて活動報告しています

岩本ゆうすけ

www.ganpon.net

今回の議員報告についてご意見やご質問・市政相談がございましたら、岩本ゆうすけまでご連絡ください！

自宅：枚方市東牧野町24-29 直通：070-6654-6679

メール：yusuke@ganpon.net